



## 平成29年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年10月27日

上場会社名 バリューコマース株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 2491 URL <http://www.valuecommerce.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 最高経営責任者 (氏名) 香川 仁  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 最高財務責任者 (氏名) 遠藤 雅知 TEL 03-6438-6860  
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月8日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年12月期第3四半期の連結業績（平成29年1月1日～平成29年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年12月期第3四半期	12,225	△7.2	1,475	114.0	1,491	97.9	578	136.1
28年12月期第3四半期	13,179	7.7	689	△39.8	753	△40.7	245	△68.9

(注) 包括利益 29年12月期第3四半期 628百万円 (95.7%) 28年12月期第3四半期 321百万円 (△59.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年12月期第3四半期	17.99	17.97
28年12月期第3四半期	7.38	—

(注) 平成28年12月期第3四半期における潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年12月期第3四半期	10,742	6,503	60.3	201.33
28年12月期	9,984	6,163	61.3	188.02

(参考) 自己資本 29年12月期第3四半期 6,476百万円 28年12月期 6,118百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年12月期	—	2.00	—	2.00	4.00
29年12月期	—	3.00	—	—	—
29年12月期(予想)	—	—	—	6.00	9.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成29年12月期の連結業績予想（平成29年1月1日～平成29年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,500	△5.7	1,900	105.9	1,920	91.7	860	149.5	26.73

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年12月期3Q	34,471,000株	28年12月期	34,471,000株
② 期末自己株式数	29年12月期3Q	2,302,800株	28年12月期	1,930,700株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年12月期3Q	32,170,857株	28年12月期3Q	33,228,780株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、[添付資料] P. 3 「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

四半期決算補足説明資料は、当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書 .....	6
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8
(セグメント情報) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国の経済は、企業収益が引き続き改善傾向にあるのに加え、個人消費も緩やかながら持ち直しており、全体として景気回復基調が継続しました。

そうした環境下において、当社グループは、計画どおり、「集客」から「接客」、「リテンション（顧客との関係維持）」まで提供する事業に一貫して注力しております。

当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は、主に広告事業のアフィリエイトマーケティングサービスにおいて、金融以外の分野は伸長したものの、金融分野のうち利益率の低い大型案件の広告出稿が減少したことにより、12,225,928千円（前年同四半期比7.2%減）となりました。

営業利益は、広告事業のアフィリエイトマーケティングサービス及びストアマッチサービスが堅調であったことに加え、CRM事業のYahoo!ショッピングに出店するストア向けサービスが好調だったことにより、1,475,404千円（前年同四半期比114.0%増）となりました。

経常利益は、営業外収益に持分法による投資利益31,008千円、営業外費用に投資事業組合運用損20,990千円を計上したこと等により、1,491,744千円（前年同四半期比97.9%増）となりました。

また、サービスの発展・強化を目的として事業戦略の見直しを行ったことに伴い、主に広告事業のアドネットワークサービス「ADRESSO（アドプレッソ）」及びCRM事業のマーケティングオートメーションサービス「R∞（アール・エイト）」について減損を認識したこと等により特別損失580,889千円を計上いたしました。その結果、税金等調整前四半期純利益は918,491千円（前年同四半期比90.9%増）となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、法人税等339,653千円を計上したことにより、578,837千円（前年同四半期比136.1%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

第1四半期連結会計期間より、業績管理の精度向上及び適切な事業運営を行うため、管理部門等からの各事業への費用の配賦を限定し、各事業において管理可能な費用が明確となるように、報告セグメントの利益又は損失の算定方法の変更を行いました。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメントの業績は、変更後の算定方法に基づき作成しております。

#### ①広告事業

「広告事業」は、ウェブサイト上で商品やサービスを販売しているEコマース事業者等の広告主の広告を、ウェブサイトやアプリの広告掲載メディアに配信する事業で、主に「アフィリエイトマーケティングサービス」「ストアマッチサービス」等を含みます。

当第3四半期連結累計期間におきましては、主にアフィリエイトマーケティングサービスで、金融以外の分野は伸長したものの、金融分野のうち利益率の低い大型案件の広告出稿が減少したことにより、売上高を押し下げました。一方、セグメント利益は、アフィリエイトマーケティングサービス及びストアマッチサービスが堅調に推移しました。

この結果、セグメント売上高は11,296,774千円（前年同四半期比11.7%減）、セグメント利益は2,124,479千円（前年同四半期比24.5%増）となりました。

#### ②CRM事業

「CRM事業」は、オンラインストアと実店舗での消費者の購買・行動データを一元管理・分析し、一人ひとりのニーズとタイミングに合わせた情報を発信することで、消費者が購入しやすい販路への誘導、再訪を促すサービスを提供する事業で、「マーケティングオートメーションサービス」等を含みます。

当第3四半期連結累計期間におきましては、Yahoo!ショッピングに出店するストア向けサービス「STORE's R∞（ストアーズ・アールエイト）」が好調に推移しました。

この結果、セグメント売上高は978,529千円（うち内部売上高は49,375千円）（前年同四半期比152.7%増）、セグメント利益は273,818千円（前年同四半期は231,674千円の損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

1. 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は10,742,605千円となり、前連結会計年度末と比べて757,983千円増加いたしました。

流動資産は7,834,252千円となり、前連結会計年度末と比べて1,126,795千円増加いたしました。これは、主にその他流動資産が69,349千円減少したものの、現金及び預金が678,286千円、受取手形及び売掛金が398,855千円、未収入金が86,251千円増加したことによるものです。

固定資産は2,908,352千円となり、前連結会計年度末と比べて368,811千円減少いたしました。これは、主に投資有価証券が153,938千円増加したものの、ソフトウェアが230,030千円、のれんが282,461千円減少したことによるものです。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は4,239,071千円となり、前連結会計年度末と比べて417,834千円増加いたしました。

流動負債は4,092,715千円となり、前連結会計年度末と比べて456,445千円増加いたしました。これは、主に未払金が128,896千円減少したものの、買掛金が130,780千円、未払法人税等が282,074千円、賞与引当金が88,741千円増加したことによるものです。

固定負債は146,355千円となり、前連結会計年度末と比べて38,610千円減少いたしました。これは、主に繰延税金負債が33,200千円減少したことによるものです。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は6,503,533千円となり、前連結会計年度末と比べて340,149千円増加いたしました。これは、主に利益剰余金が剰余金の配当により161,460千円減少し、自己株式が133,956千円増加したものの、利益剰余金が親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により578,837千円増加し、その他有価証券評価差額金が49,755千円増加したことによるものです。

2. キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は4,278,549千円となり、前連結会計年度末と比べて678,286千円増加いたしました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は1,375,068千円（前年同四半期は549,874千円の獲得）となりました。これは、主に税金等調整前四半期純利益が918,491千円であり、プラス要因として、減価償却費が236,964千円、のれん償却額が114,753千円、減損損失が547,971千円、仕入債務の増加額が130,780千円であったものの、マイナス要因として、売上債権の増加額が398,855千円、未払金の減少額が126,648千円、法人税等の支払額が226,633千円であったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は417,321千円（前年同四半期は943,067千円の使用）となりました。これは、主に無形固定資産の取得による支出が294,562千円、投資有価証券の取得による支出が119,019千円であったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は279,490千円（前年同四半期は280,095千円の使用）となりました。これは、主に自己株式の取得による支出が149,967千円、配当金の支払額が159,896千円であったことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成29年9月28日の「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました平成29年12月期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	3,600,263	4,278,549
受取手形及び売掛金	2,133,333	2,532,188
繰延税金資産	46,571	79,215
未収入金	770,533	856,784
その他	157,586	88,237
貸倒引当金	△830	△723
流動資産合計	6,707,456	7,834,252
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物附属設備（純額）	222,886	209,871
工具、器具及び備品（純額）	113,618	104,294
有形固定資産合計	336,505	314,166
<b>無形固定資産</b>		
ソフトウェア	766,210	536,179
ソフトウェア仮勘定	51,829	78,161
のれん	647,591	365,130
その他	88,112	10,117
無形固定資産合計	1,553,743	989,589
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	1,130,161	1,284,099
差入保証金	244,078	243,755
繰延税金資産	—	66,626
その他	12,892	10,116
貸倒引当金	△217	—
投資その他の資産合計	1,386,915	1,604,596
固定資産合計	3,277,164	2,908,352
資産合計	9,984,621	10,742,605

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,785,748	1,916,528
未払金	1,527,304	1,398,408
未払法人税等	71,090	353,165
賞与引当金	—	88,741
その他	252,127	335,872
流動負債合計	3,636,270	4,092,715
固定負債		
長期預り保証金	76,527	71,077
繰延税金負債	33,200	—
その他	75,239	75,278
固定負債合計	184,966	146,355
負債合計	3,821,237	4,239,071
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,728,266	1,728,266
資本剰余金	1,088,558	1,113,222
利益剰余金	3,662,146	4,079,523
自己株式	△428,089	△562,046
株主資本合計	6,050,881	6,358,966
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	68,260	118,016
為替換算調整勘定	△895	△648
その他の包括利益累計額合計	67,364	117,367
新株予約権	45,137	27,199
純資産合計	6,163,384	6,503,533
負債純資産合計	9,984,621	10,742,605

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)
売上高	13,179,479	12,225,928
売上原価	10,299,298	8,494,025
売上総利益	2,880,180	3,731,903
販売費及び一般管理費	2,190,822	2,256,498
営業利益	689,358	1,475,404
営業外収益		
持分法による投資利益	46,030	31,008
受取保険金	45,705	—
その他	10,245	6,747
営業外収益合計	101,981	37,756
営業外費用		
投資事業組合運用損	28,669	20,990
その他	8,880	426
営業外費用合計	37,549	21,417
経常利益	753,789	1,491,744
特別利益		
新株予約権戻入益	—	7,636
特別利益合計	—	7,636
特別損失		
本社移転費用	74,844	—
減損損失	18,894	547,971
投資有価証券評価損	159,396	—
その他	19,505	32,917
特別損失合計	272,640	580,889
税金等調整前四半期純利益	481,148	918,491
法人税、住民税及び事業税	243,418	494,082
法人税等調整額	△7,401	△154,429
法人税等合計	236,017	339,653
四半期純利益	245,131	578,837
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	245,131	578,837
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	77,124	49,755
為替換算調整勘定	△516	89
持分法適用会社に対する持分相当額	△479	158
その他の包括利益合計	76,128	50,003
四半期包括利益	321,260	628,840
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	321,260	628,840
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	481,148	918,491
減価償却費	198,252	236,964
のれん償却額	129,999	114,753
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△522	△324
受取利息	△445	△65
支払利息	67	—
為替差損益(△は益)	6,543	216
持分法による投資損益(△は益)	△46,030	△31,008
投資事業組合運用損益(△は益)	28,669	20,990
投資有価証券評価損益(△は益)	159,396	—
投資有価証券売却損益(△は益)	—	16,168
減損損失	18,894	547,971
本社移転費用	74,844	—
売上債権の増減額(△は増加)	203,893	△398,855
仕入債務の増減額(△は減少)	△148,231	130,780
未収入金の増減額(△は増加)	33,444	△86,251
未払金の増減額(△は減少)	150,031	△126,648
預り金の増減額(△は減少)	△5,781	—
預り保証金の増減額(△は減少)	△2,386	△5,449
その他	△35,215	249,789
小計	1,246,572	1,587,524
利息及び配当金の受取額	11,027	14,177
利息の支払額	△67	—
本社移転費用の支払額	△54,610	—
法人税等の支払額	△653,047	△226,633
営業活動によるキャッシュ・フロー	549,874	1,375,068
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△242,704	△20,754
無形固定資産の取得による支出	△385,327	△294,562
投資有価証券の取得による支出	△88,292	△119,019
投資有価証券の償還による収入	15,824	—
投資有価証券の売却による収入	—	2,021
投資事業組合からの分配による収入	—	14,669
差入保証金の回収による収入	119	1,018
差入保証金の差入による支出	△242,686	△694
投資活動によるキャッシュ・フロー	△943,067	△417,321
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の処分による収入	92	30,372
自己株式の取得による支出	—	△149,967
長期借入金の返済による支出	△14,700	—
配当金の支払額	△264,201	△159,896
その他	△1,286	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△280,095	△279,490
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4,217	30
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△677,505	678,286
現金及び現金同等物の期首残高	4,198,801	3,600,263
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,521,296	4,278,549

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I. 前第3四半期連結累計期間(自平成28年1月1日至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 及び包括利益計 算書計上額 (注) 2
	広告事業	CRM事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	12,792,302	387,176	13,179,479	—	13,179,479
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	12,792,302	387,176	13,179,479	—	13,179,479
セグメント利益又は損失(△)	1,706,153	△231,674	1,474,479	△785,120	689,358

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△785,120千円は、各報告セグメントに帰属しない全社費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

固定資産に係る重要な減損損失はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

「CRM事業」セグメントにおいて、前連結会計年度に株式会社デジミホの株式を取得したことに伴い暫定的に算定されたのれん724,097千円を計上しておりましたが、取得原価の配分が完了したことにより561,738千円に変動しております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II. 当第3四半期連結累計期間（自 平成29年1月1日 至 平成29年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1、2	四半期連結損益 及び包括利益計 算書計上額 (注) 3
	広告事業	CRM事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	11,296,774	929,154	12,225,928	—	12,225,928
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	49,375	49,375	△49,375	—
計	11,296,774	978,529	12,275,304	△49,375	12,225,928
セグメント利益	2,124,479	273,818	2,398,298	△922,894	1,475,404

(注) 1. セグメント間の内部売上高又は振替高の調整額△49,375千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益の調整額△922,894千円は、各報告セグメントに帰属しない全社費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第3四半期連結累計期間において、事業戦略の見直しを行ったことに伴い、広告事業及びCRM事業について減損を認識し、当該資産グループの帳簿価額を回収可能価額まで減額し、減損損失をそれぞれ247,554千円、300,417千円計上しております。

なお、当該減損損失は、いずれも各報告セグメントに配分されておられません。

(のれんの金額の重要な変動)

広告事業セグメントにおいて、のれんの減損損失を計上したため、のれんが減少しております。なお、当該事象によるのれんの減少額は、当第3四半期連結累計期間において167,708千円であります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの利益又は損失の算定方法の変更

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

今後さらなる業績管理の精度向上及び適切な事業運営を行うため、第1四半期連結会計期間より、管理部門等からの各事業への費用の配賦を限定し、各事業において管理可能な費用が明確となるよう報告セグメントの利益又は損失の算定方法を変更することいたしました。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の算定方法に基づき作成しております。